

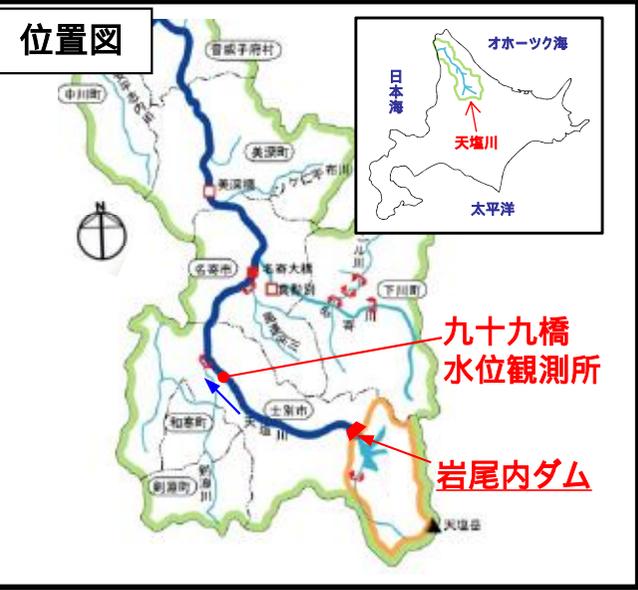
ダム整備が効果を発揮(北海道 岩尾内ダム)(国管理)

令和元年8月9日、岩尾内ダムでは、温帯低気圧に伴う降雨により洪水量を超える流入量を観測。

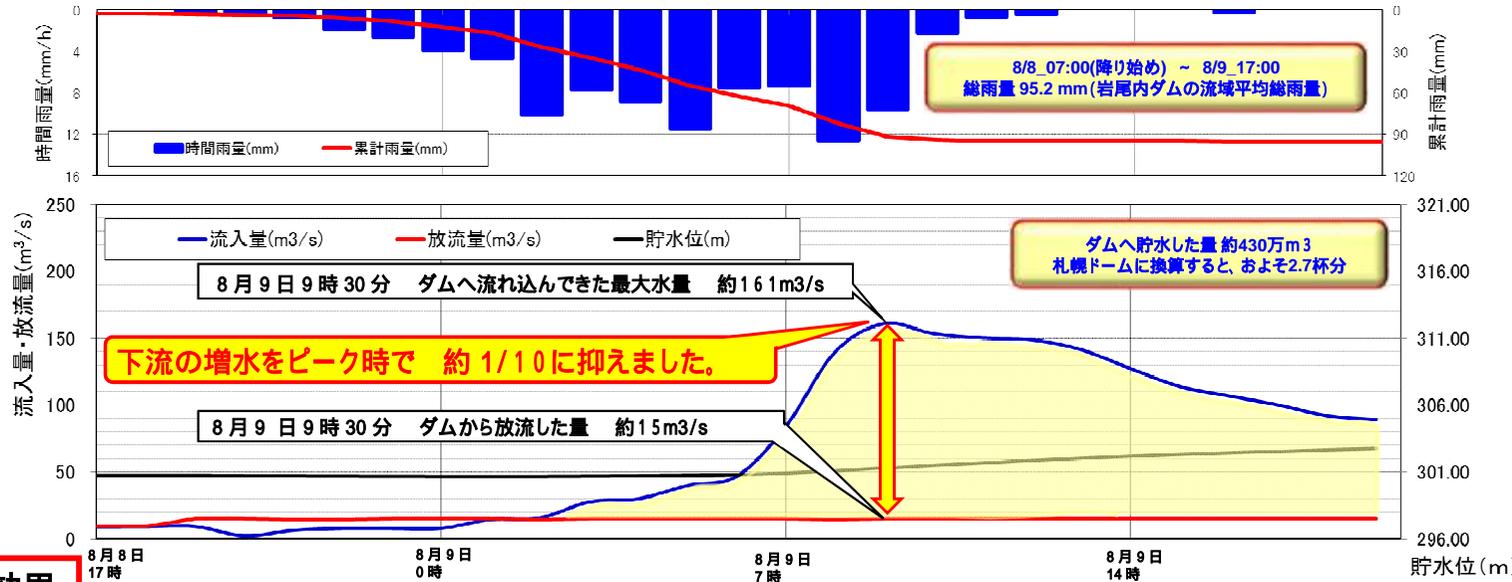
岩尾内ダムの防災操作によって、ピーク時の水量を約1/10に抑え、下流河川の水位低減を図り、下流の士別市(九十九橋水位観測所)では、水位を約0.58m低減させる効果があったものと推測されます。

仮にダムが整備されていないならば、氾濫注意水位を上回る出水となったことが想定されます。

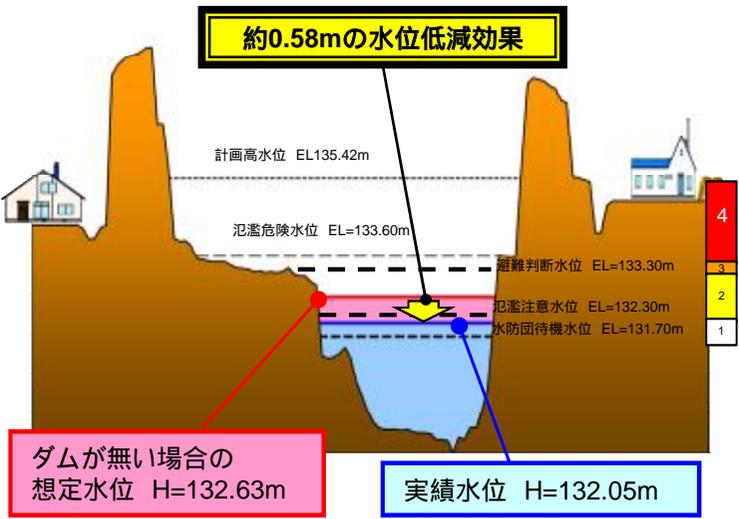
氾濫注意水位：川の氾濫の発生を注意する水位



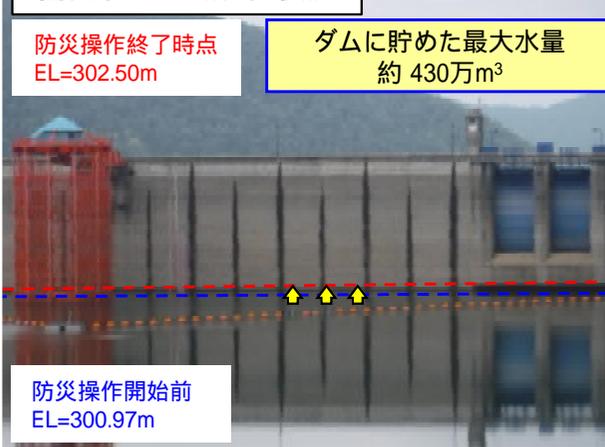
岩尾内ダムの防災操作



九十九橋水位観測所地点における水位低減効果



岩尾内ダム貯水状況



本資料の数値は速報値であるため、今後の調査で変わる場合があります。